

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	



「道の駅ふたつ」に米代川をはさんで対岸にそびえる七座山は、7つの峰を持つ信仰の山であり、原始的な天然秋田スギが見られます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

森林学習 林道ってなに？

岩手

岩手南部森林管理署遠野支署

遠野市には、森林に関心を持つ方が多く、当支署では、森林に触れ合うための森林学習の機会を市民に提供しています。今年度は、森林学習の新しい試みとして、遠野市土淵町^{つちぶちちょうとちない}柵内の国有林の二枚橋沢林道新設工事現場の見学を行いました。参加者は、みどりの保育園の5歳児21名とその保護者26名です。伐採した木の利用方法や運搬するために必要な林道の作設について、園児にもわかりやすく説明をしました。

園児たちからは、チェーンソーによる伐倒では、「すごいね！」「本当に倒れた！」と大きな歓声があがりました。質問タイムでは「工事現場にはどうして木が生えているの？」「工事現場に水があるけどどうするの？」など素直な目線からの質問が多く出ました。



おっきい機械が動いているよ～

家に帰ってからも、当日配布した「うんこドリル」を保護者と一緒に読んで楽しく学習したと保育園から感想文が届きました。

今回の森林学習で、森や林道に興味をもっていたら幸いです。当支署では、今後の森林学習でも、興味を引きやすい、わかりやすい情報提供をしていきます。

防風保安林の清掃活動

青森

津軽森林管理署金木支署

当支署は青森県津軽半島の日本海側にある国有林を管理しています。十三湖畔の五月女^{そとめやち}地区は日本海沿岸に位置し、風が強い地域であるため、クロマツ等の国有林は防風保安林として、後背地にある集落及び耕作地の保全に重要な役割を果たしています。

一方で、保安林内や海岸には不法投棄や漁具、発泡スチロール、プラスチック容器など日本海からの漂着ゴミ等の散乱が非常に多いことから、当支署では毎年度、地元自治体と森林ボランティア巡視員等と連携しながら清掃活動を実施し、美しい森林づくりに取り組んでいます。本活動は保安林機能の維持・促進を図ること、また、不法投棄防止のPR活動及び、森林の有する多面的機能に貢献することを目的としています。

今年度は、6月21日、五月女^{そとめやち}国有林の海岸林において金木支署森林巡視員の会々員のほか、五所川原市職員等総勢53名が参加してクリーン作戦を実施し、多くのゴミを収集しました。

今後も清掃活動を続けることで、十三湖周辺の動植物や十三湖のシジミ貝、津軽海峡メバルを含む海洋生物等を将来に引き継ぐための森林の保全に取り組んでいきます。



清掃活動の様子

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

令和5年7月大雨災害対応について

岩手

岩手南部森林管理署

秋田県を中心に大きな被害となった令和5年7月の大雨災害の際には、当署が管轄する岩手県の南部においても、降り始めからの降水量が多いところで400ミリを超えるなど、記録的な大雨となりました。

当署管内には、林道が約161路線、総延長で約640kmあります。森林管理署の事業はもちろん、市や町と併用して地域のために利用されている林道もあり、大雨被害により通行ができなくなった林道の早期復旧が望まれます。そのため、被害状況調査や復旧工事のために必要な資料の作成を短期間で行うことが必要となります。

路体が大雨で流出し車が通行できなくなった林道については、徒歩で被害状況調査を実施することも多く、昨年の災害時は酷暑の中、合計数十キロ歩いた職員もいました。



林道被害状況

また、雨量が多かった西和賀町では、市町村支援の一環としてドローンによる民有林の被害状況調査を行いました。その結果、人家等に影響しそうな山地災害はないことを確認し、調査終了後直ちに町への情報提供を行いました。今後とも、大雨等の災害時の初動対応に万全を期して取り組んでいきます。



西和賀町への報告

森林病虫害被害に向けた対応について

秋田

米代東部森林管理署上小阿仁支署

当支署管内の国有林では、松くい虫、ナラ枯れ等の森林病虫害による被害は、現在のところ確認されていません。令和3年度に北秋田地域振興局よりナラ枯れ被害の疑義情報がありましたが、現地確認を行い、被害は確認されませんでした。

一方、民有林においては、松くい虫被害が上小阿仁村で、平成20年度及び平成26年度に確認された際には伐倒くん蒸処理を施し、平成27年度以降被害は確認されていません。ナラ枯れ被害の現状としては、令和2年度に北秋田市の民有林において被害が確認され、内陸部の被害先端地域となっています。

当支署では毎年開催されている、県主催の森林病虫害等防除北秋田地域連絡協議会に出席し、地元関係機関との意見交換を行っており、令和5年8月31日の協議会においては、「今年の夏は気温がとても高く（病虫害を引き起こす虫が多く発生し活発に活動するため）、今後被害が拡大しやすい傾向にある」との懸念の声がありました。

当支署においては、ドローン空撮による被害状況の確認及び職員が現場に出張した際には引き続き



ドローン空撮による被害状況の確認

目視による確認等を行い、被害木の早期発見に努めるとともに、新たな被害が確認された際は、国、市村、森林組合、近隣の振興局など、関係機関と情報共有しながら、病虫害の監視強化及び被害木の適切な処理を行っていきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

次の世代へつながる活動を

由利森林管理署

秋田

当署管内にある秀麗鳥海山は出羽富士と呼ばれ、火山活動の溶岩が重なりあって形成された2,236mの単独峰です。山域は、秋田県由利本荘市、にかほ市、山形県酒田市、遊佐町と広く、酒田市飛島を含むこの地域は、日本ジオパークに認定され、自治体、地域住民等が連携して、豊かな自然や文化を次の世代に伝えるための活動を行っています。

にかほ市象潟町の「獅子ヶ鼻湿原」もその一つで、長い年月をかけて独自の変化を遂げた湿原は、豊富な湧水群に希少なコケ類が生育することから国の天然記念物に指定されています。当署では地元高校からの依頼で「自然を肌で感じ、森林を身近に感じて地元を誇りを持ってもらう」ことを目的に、学術的に価値のある「獅子ヶ鼻湿原」で森林教室を行っています。この森林教室で自然・森林・地元に興味を持った生徒が翌年は、由利本荘市矢島町の「桑ノ木台湿原」に自分たちで



獅子ヶ鼻湿原にて

できています。

このように、自分たちが住む地域にある自然の価値や存在を学び、興味を持つことから自然保護や地域活性へつながっていくと考えています。当署では今後も貴重な自然の保全と活用につながる取組を行っていきます。

計画し実際にいき、また違った自然の在り方を学習するといったつながりも生まれ

地域のニーズを国有林の森林計画に

山形森林管理署最上支署

山形

令和7年4月を始期とする「第7次最上村山森林計画区における地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画」策定のための住民懇談会を12月5日に山形県村山市の甌葉ホールで開催しました。

5年に一度策定される森林計画等に国有林に対する地域のニーズを把握するための場となる住民懇談会には、森林計画検討委員、国有林モニター、県・市町村林務担当者、地域住民の方々の28名に出席いただきました。

国有林の森林計画に関する説明を行った後に行われた意見交換では、活発な意見や要望が出されました。



住民懇談会の様子

主な発言として、「地域の環境保全を推進」、「蔵王のオオシラビソ林再生への協力」、「自然災害への対策」、「民有林と関係した素材生産」、「林業従事者の人材育成」、「航空レーザー測量に関する関係・指導」、「花粉症・獣害対策」といった様々な意見・要望があり、地域の方々の国有林に対する期待や関心が高いことがうかがえました。

今回出された地域の思いがこもった貴重な意見・要望を踏まえ、次期森林計画の策定作業を進めていきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

山地災害危険地区の点検について

青森

津軽森林管理署

山地災害危険地区とは山崩れや地すべり、また、崩れた土砂の流出により、人家や道路、公共施設等に直接被害の影響を及ぼすおそれのある地区です。この危険地区は治山事業による対策の選定、優先度の決定や市町村等における警戒避難体制の整備のための基礎情報として活用されています。

近年、記録的な豪雨が頻発し、山地災害が各地で多発しています。こうした状況のなか危険地区の現況把握は重要であり、定期的な点検により災害の未然防止の役割を果たしています。特に大型台風の接近に伴い災害が想定される場合は、甚大な被害を及ぼすため、日頃から気象情報等に留意しています。

当署管内の山地災害危険地区は247箇所あり、被害の影響を及ぼすおそれのある、最も危険度が高い地区を優先的に点検しています。点検は木の葉が落ちる秋頃からが現地の状況を確認しやすく、最近ではドローンを活用し、谷に土砂が増えているか等の点検に取り組んでいます。

今後も継続して危険地区の点検を行い、情報の収集や提供、関係機関への連絡体制の整備やチラシ配布による住民への危険地区の周知等、地域の安全性向上に努めていきます。



ドローンを活用した危険地区の点検

広葉樹ブランド材を全国へ！

岩手

盛岡森林管理署

東北森林管理局では、自然災害への対応や地球温暖化の防止効果を高めるための森林整備を進めています。主に針葉樹の人工林を対象としていますが、近年は、これに隣接する広葉樹林についても抜き伐り等による森林整備を進めています。また、その際、伐採された木材を有効活用するため、丸太として販売しています。

当署管内の国有林には、スギ、アカマツ、カラマツ等の針葉樹だけでなく、広葉樹資源も豊富で、地元の製材所に限らず、都市部を含む他地域へも多様な木材を供給しています。

令和5年度は、岩手県内の木材市場だけでなく、家具材や内装材として広葉樹の需要が高い中部地方の市場にも広葉樹丸太を出品しました。特に高品質な広葉樹は、当局のブランド材「㊦㊧広葉樹」として販売し、東北や関東、中部地域の製材所等に購入されました。ブランド材としてロゴマークを表示して販売することにより、管内の高品質な広葉樹材について広くPRすることができました。



市売りした㊦㊧広葉樹

今後も、森林資源を有効に活用するとともに、多様かつ高品質な木材の供給により、地域産業の活性化への貢献をしていきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

青森



青森県下北郡佐井村

下北森林管理署

佐井村は青森県下北半島の西側に位置し、眼下に広がる広大な海に沿って続く、細長い海岸線の自然の理を活かした漁業と観光を生業とする本州最北の村です。

天然の良港に恵まれた佐井湊は、鬱蒼と生い茂った豊富な南部檜（ヒバ）による交易により、江戸時代後期には、江戸・京都・大阪までヒバの積み出し港として栄えました。交易による商業の町、文化の町として発展し繁栄を極め、この時代の交易によりもたらされた文化が今なお、受け継がれています。



村内漁港風景「夏の輝き」(写真:佐井村提供)

佐井村には、国の名勝および天然記念物に指定されている「仏ヶ浦」と呼ばれる観光名所があります。仏ヶ浦は元々「仏ヶウタ」と呼ばれ、大正11



仏ヶ浦

年に文豪「大町桂月」がこの地を訪ねて「神のわざ、鬼の手造り仏ヶウタ…」と歌を詠んで以来、注目を集めることとなりました。天候の穏やかな4月下旬から10月末までが観光シーズンで、毎年数十万人の観光客が訪れています。

そして、村を訪れる観光客の方にお土産として人気なのが、佐井村の特産品であるキタムラサキウニをふんだんに使用した「甘塩うこの瓶詰」



津軽海峡産甘塩うに

です。漁場では、昆布やワカメといった海藻が数多く、良質な餌場が形成されていることから、採れる



佐井産キタムラサキウニ

ウニは身が引き締まり、味が濃く上品な甘みが絶品です。また、旬の時期である4月下旬から8月上旬にかけて村内の飲食店にて、ウニ丼を楽しむことができます。

毎年6月中旬には、津軽海峡文化館アルサスにて「佐井村うに祭り」を2日間開催しており、各日1000食限定で通常よりもお手頃価格にてウニ丼を



【佐井村うに祭り】うに丼

お楽しみいただけます。殻付きうに、鮮魚や加工品等も特価で販売しておりますので、是非佐井村へお越しくださいませ。

お問合せ先：佐井村総合戦略課 Tel. 0175-38-2111

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形

山形県米沢市

置賜森林管理署

米沢市は山形県最南部に位置し、東に奥羽山脈、南に吾妻連峰、西に飯豊連峰と2,000m級の山々に囲まれた盆地で、総面積548.51平方キロメートルのうち約76%を森林面積を占めています。気候は夏暑く冬寒い、季節の移り変わりがはっきりとした盆地特有のもので、四季折々の情緒を肌で感じることができます。



西吾妻山

本市は、全国でも有名なブランド牛「米沢牛」の産地であり、その美味さは、和牛飼育に適した米沢地方の気候・土壌・水・それに優れた飼育技術と相まって生まれるものです。そのしっとりとしたとろける、味のある脂質や柔らかくでジューシーな肉質とまろやかな風味が「米沢牛」の特徴です。ステーキ、焼肉もお勧めですが、霜降り肉のすき焼きは絶品です。



ブランド牛「米沢牛」



塩地平の草木塔

また、本市の田沢地区は米沢藩の御料林を抱え、薪材を川を使って米沢城下にする大規模な「木流し」が江戸時代から昭和初期まで続いていました。また、伐採した樹木に対して感謝と供養の気持ちを含めて建立されたと言われている「草木塔」という石塔が数多く建立されており、江戸時代中期の安永9年に田沢地区に建てられたもの（塩地平の草木塔）が最古とされています。令和2年には、田沢地区にある江戸時代の草木塔17基と田沢地区・八谷の留め場跡が、「米沢市の山との暮らしを伝える遺産群：草木塔群と木流し」として、県内で初めて一般社団法人日本森林学会に「林業遺産」として認定されました。

草木塔は、自然と人との共生、環境保全といった現代に通じる歴史資源であり、自然を慈しむ地域特有の精神が受け継がれています。



林業遺産認定証

二ホンジカによる獣害

二ホンジカによる獣害については、宮城県沿岸地域、岩手県こようざん五葉山周辺から中央部の早池峰山はやちねさん周辺にかけての摂食等被害が年々増加してきています。

近年では秋田・青森両県での目撃情報も増えており、白神山地など貴重な自然植生への影響も懸念されています。

東北森林管理局では二ホンジカによる被害対策として、委託による捕獲事業等を実施しています。また、市町村・猟友会等と「鳥獣被害対策協定」（5署10自治体）を締結し、猟友会へのワナの貸与や降雪期の林道除雪及び餌による誘引捕獲を行っています。

一方で、これまでのくくりわなによる捕獲の問題点として、①設置には技術が必要。②けもの道を探して設置するため車道から遠くなりがち。③わな設置後いつ獲物がかかるかわからない。④再捕獲は獲物が警戒する。等の問題点が多くある中、全国的には小林式誘引捕獲法によるシカの捕獲が増加傾向にあります。

小林式誘引捕獲法によるシカ捕獲

小林式誘引捕獲法とは、林野庁職員（小林正典）が考案した捕獲法でシカが餌を食べるときに、口元に前足を置く習性を利用し初心者でも簡単に効率よく捕獲できる手法です。



〈シカの行動調査・餌の食べ方〉
口元に前足を置いて餌を食べている

この捕獲法のメリットは、①特別な技術は不要で捕獲効率が高い。②車でアクセスしやすい場所に設置できる。③見回り、運搬が容易で安全性が

高い。④けもの道以外に設置することができるので錯誤捕獲が少ない。そのほか、短期集中でわなを設置できるのでトータルコストを大幅削減することができます。



〈シカの行動調査歩き方〉
大きな石や障害物をよけて歩く

昨年10月12日に三陸北部森林管理署管内でわな貸出協定を締結している自治体と猟友会等を

〈小林式誘引捕獲法〉



①わなの周囲に石を置いて空はじきを防止



②わなを設置後、わなを中心にドーナツ状に餌をまく

対象に小林式誘引捕獲法を考案した小林氏を講師に招き現地勉強会を開催しました。わなを設置する際の注意点等の講義のほか、実際にわなを設置する実習を行いました。

参加者からは、「今まで自己流で設置していたが、実際に実習を受けて設置方法の違いがよく分かった。」等の意見がありました。

今後、小林式誘引捕獲法の普及に努め、1頭でも多く捕獲することでシカ被害の低減を図っていきます。



小林氏による実演

使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

新しい林業実行プランにおける 大苗植栽調査

林野庁では、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げており、この「グリーン成長」を実現するための施策の一つとして「新しい林業」に向けた取組を展開しています。

この取組では、伐採から再生林・保育に至る収支のプラス転換を目的として、林業従事者の所得と労働安全の向上を図りつつ「長期にわたる持続的な経営」に取り組むこととしており、再生林の確実な実施に向けた造林コストの縮減が重要な課題とされています。

東北森林管理局では、この取組の一つとして、下刈回数（通常は5～6回実施）の低減に向けた大苗の植栽を実施しています。これまで、管内の国有林において、令和3年度には約10万本、令和4年度には約16万本のコンテナ大苗を植栽したほか、その一部植栽地において成長調査を実施しています。



スギ大苗植栽事業地（秋田森林管理署）

令和3年度に植栽した大苗については、植栽時平均で苗長62.5cm、根元径7.3mmに対し、令和4年度調査時では平均で苗長70.2cm、根元径11.3mmと苗長で7.7cm、根元径で4.0mmの成長結果となっています。今年度の調査については現在集計中ですが、今後も下刈が終了するまでの間、継続的に調査を行い、大苗植栽による下刈低減についての実証を進めていきます。

ご関心のある方は、森林整備課
(TEL:018-836-2162)へお問合せ下さい。

林木育種事業に関する 技術指導を行っています!

森林総合研究所林木育種センター東北育種場では、東北育種基本区（青森・岩手・宮城・秋田・山形・新潟）各県からのご要望に応じて、県の職員等の皆様に採種園の造成管理方法やクローン増殖の方法等について技術指導を行っています。



スギ採種木剪定に関する実技説明

令和5年度も、宮城県、秋田県、新潟県からの要望を受け、スギ採種園やクロマツ採種園の樹形誘導（仕立て方）等のノウハウを伝える技術

指導を行いました。

スギの育種種子とさし穂を生産する採種園の管理を支援するため、4月に宮城県林業技術総合センター、5月に新潟県森林研究所にてスギ採種園の樹形誘導・管理について実技を交えた指導と意見交換を行いました。また、マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの種子を生産する採種園の管理を支援するため、6月には宮城県林業技術総合センターにて剪定によってクロマツ採種園の種子を安定的に供給する樹形誘導や施肥等の管理について、実技を交えた指導と意見交換を行いました。また、8月には東北育種場において秋田県林業研究研修センターの職員等を対象にスギ・クロマツ採種園の樹形誘導・管理の他、クローン苗の育成方法、系統管理について技術指導と意見交換を行っています。

林木育種センター東北育種場では林木育種事業に携わる皆様からのご要望にお応えするため、今後も引き続き各種の技術支援に取り組んでまいります。

ご関心のある方は、森林総合研究所 林木育種センター
(TEL:019-688-4518)へお問合せ下さい。

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」として
働く人の紹介です。

“人の暮らしを守る森林”を育てる

宮城

宮城県森林組合連合会

丸森町森林組合 小関 隼さん

当森林組合は、宮城県最南端に位置する丸森町の森林を保育管理しております。

町の約7割を山林が占める丸森町は、令和元年に起きた台風19号により多大なる被害を受けました。当時、私は教育現場で働いていましたが、被災地でのボランティアに参加する機会があり、実際の被害を目の当たりにして、自然災害の恐ろしさを痛感しました。そして、森林の役割や大切さを知り、山の仕事に興味を持ったことが入組したきっかけです。

入組して3年になり、業務の内容は主に契約書の作成や木材販売の精算等の事務作業と、作業区域の確認や測量などの現場作業の2つです。初めはスギとヒノキの違いさえもわからないほどの林業初心者でしたが、様々な現場へ足を運ぶうちに知識も増え、手をかけてきた森林の成長を目で見て実感できた時にやりがいを感じています。丁寧に整備し管理することで森林が育ち、自然災害の防止、良質な木材となり、私たちの生活を守ることに繋がります。

山仕事はきついイメージのある職業だと思えますが、高性能林業機械やドローン等を活用したスマート林業など今後の発展に期待ができる素晴らしい仕事だと思います。



植栽木の成長を確認する様子

先輩方から引き継いだ境界管理

岩手

三陸北部森林管理署 田野畑森林事務所

森林官 安藤 武司さん

当森林事務所は、田野畑村と岩泉町・宮古市の一部を管轄しており、管内の海沿いは、三陸復興国立公園に指定されています。また、高さ200mの断崖に、奇岩怪石、大小さまざまな海蝕洞窟とダイナミックな海岸線が美しい「北山崎」も国有林となっています（下写真）。

森林官の業務の一つに境界管理があります。国有林と民有地の境界を管理しており、国民の財産である国有林野を適切に管理するための重要な業務です。

管内の国有林は点在し、境界線の延長は180kmもあり、境界線には、境界杭（コンクリート杭など）が埋められています。杭を1点1点確認する「予備調査」（10年で一巡する）や目視により異常の有無を確認する「巡視」などを行っています。予備調査は、10年振りに行うため前回の調査跡が判らないことも多く、境界杭を捜し、杭の位置や番号が判るように近くの木などに見出標を貼り付け、境界線には赤いスプレーを塗布し、所有者双方が境界線を認識できるよう明示しています。



北山崎の境界線



急峻な斜面での作業

断崖の道なき道を歩く作業となりますが、途中で見られる絶景に疲れが癒されるのと同時に先輩方の苦勞にも思いを馳せています。先輩方から引き継いだ仕事を後輩たちにバトンを渡せるように日々取り組んでいきます。

2月中旬

内間木洞氷筍観察会

2月11日(日)
タケノコのように氷が地面から伸びる冬の宝石「氷筍」を楽しめる
(岩手県/久慈市)

大館アメッコ市

2月10日(土)～2月11日(日)
会場には様々なアメを販売する露店が立ち並び
(秋田県/大館市)

みやぎ県民大学「学校等開放講座」白銀の蔵王冬の森探検

2月11日(日)
蔵王で雪山トレッキング、登山の楽しさを味わう
(宮城県/宮城県蔵王自然の家)

十二所かまくらやき

2月14日(水)
燃えさかる俵をふりまわし、無病息災と五穀豊穰を祈願する
(秋田県/大館市)

月山あさひ雪まつり2024

2月17日(土)
湯殿山スキー場特設会場において各種イベントを開催
(山形県/月山あさひ雪まつり2024実行委員会)

黒石寺 蘇民祭

2月17日(土)
日本三大奇祭の一つ1200年以上の歴史を持つ黒石寺に伝わる祭
(岩手県/奥州市商業観光課)

米川の水かぶり

2月12日(月)
長い歴史と伝統のある火伏せの行事(国指定重要無形文化財)
(宮城県/登米市)

第48回弘前城雪燈籠まつり

2月9日(金)～2月12日(月)
桜の名所・弘前城の公園内に大小様々な雪燈籠や雪像が設置される
(青森県/弘前城雪燈籠まつり運営委員会)

2月下旬

冬の奥入瀬 ネイチャーガイドツアー

12月16日(土)～2月25日(日)
水が流れたまま時を止めたような大迫力の氷瀑や氷柱
(青森県/十和田奥入瀬観光機構)

氷の世界2024

1月20日(土)～2月25日(日)
本州一寒い藪川ならではの、雪と氷の世界を楽しむイベント
(岩手県/まほら岩手)

舟形雪まつり～雪見ナイト

2月23日(金)～2月24日(土)
初開催!! 雪をキャンパスに幻想的な空間をお届け
(山形県/舟形町観光物産協会)

「ひがしゆり雪まつりツアー-2024」雪山八塩登山

2月25日(日)
標高713mの八塩山。冬の登山に挑戦してみませんか
(秋田県/由利本荘市観光協会東由利支部)

ラムサール志津川湾 牡蠣祭り

2月25日(日)
南三陸町でクリーミーで濃厚な冬の味覚・牡蠣料理が堪能できる
(宮城県/南三陸町農林水産課)

地面出し競争WC in 肘折

2月25日(日)
2m～4mの雪の層を地面まで掘り進めるタイムアタック
(山形県/大蔵村観光協会)

3月上旬

第27回おおはさま宿場の雛まつり

2月23日(金)～3月3日(日)
江戸～明治時代に作られた雛人形が町内の旧家や商店の軒先を彩る
(岩手県/大迫・宿場の雛まつり実行委員会)

春色花フェスティバル

2月29日(木)～3月4日(月)
クリスマスローズと洋ランが咲き誇る花の祭典2024
(秋田県/秋田ふるさと村)

みやぎ川崎寒ざらしそばスタンプラリー

3月1日(金)～4月30日(火)
寒ざらしそば提供5店舗を回ってスタンプを5つ集める
(宮城県/川崎町観光協会)

早春の七滝・巨木スノーシューツアー

3月10日(日)
七滝からブナやミズナラの巨木・大木に会いに行く
(岩手県/岩手県民の森)

第8回しばたスプリング・フラワー・フェスティバル

3月10日(日)
早春の花が、船岡城址公園を彩る、花き販売会も実施
(宮城県/柴田町商工観光課)

灯々祭(とうとうさい)

3月上旬
雪で作ったランタンがやさしく灯り幻想的な風景を作りだす
(山形県/灯々祭実行委員会)

警察協力功労者の感謝状が贈呈されました!

青森森林管理署



首席森林官の青山昌俊さん

令和6年1月24日外ヶ浜町内において警察協力功労者感謝状贈呈式が行われ、蟹田森林事務所首席森林官青山昌俊さんに、感謝状が贈呈されました。

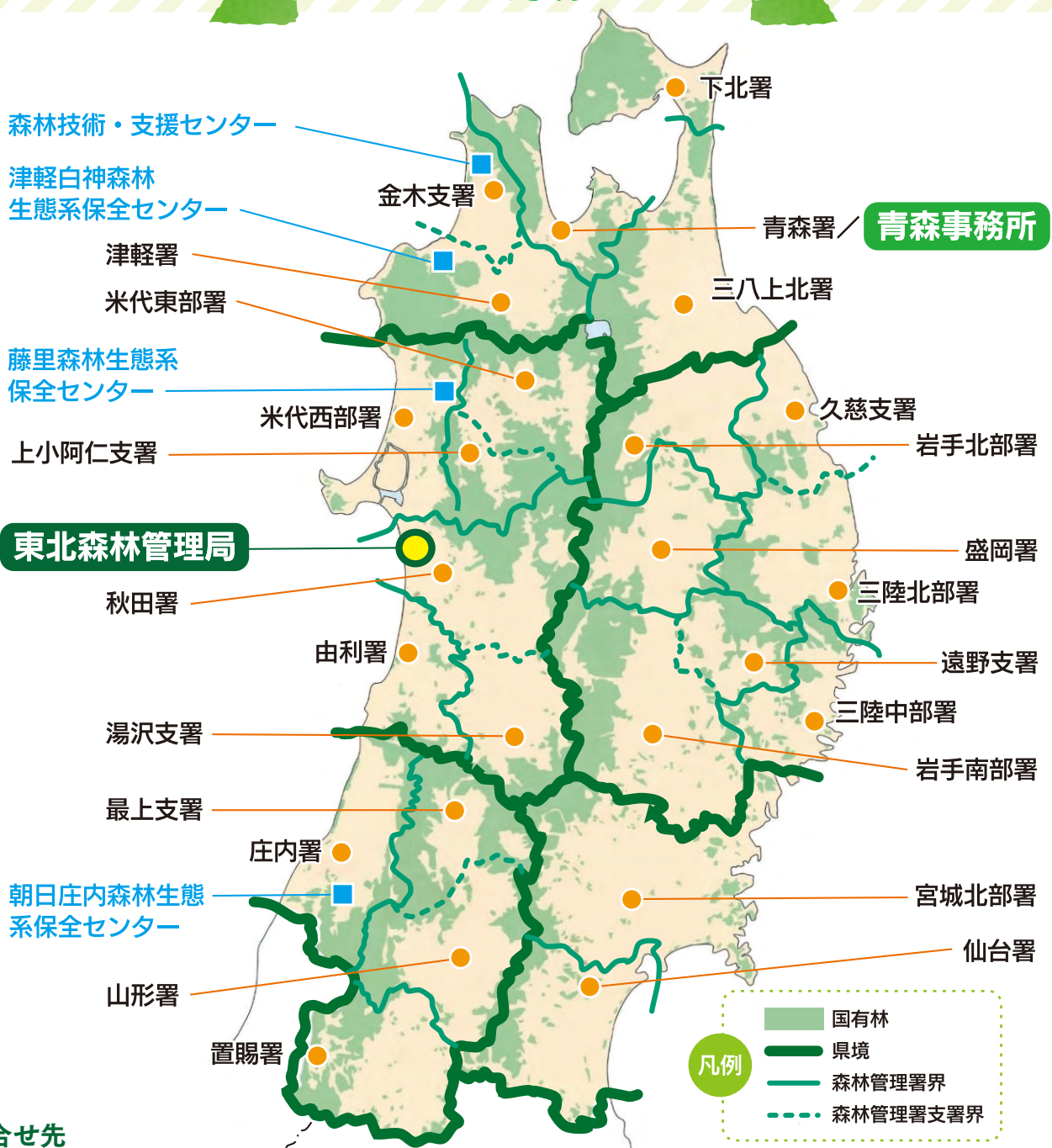
令和5年10月のきのこ採り時期に地域住民の方が遭難したため外ヶ浜警察署から森林事務所に捜索の応援要請があり、迅速に体制を整え捜索活動に協力し、遭難当日に遭難者を無事発見したその功労に対して青山首席森林官が選出され贈呈となりました。

TOPICS

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074						
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111						
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130						
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422						
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511						
岩手県	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311	山形県	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076		山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161			
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003		最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122			
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331		置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246			
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161		朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730			
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246							
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001										
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131										
遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670											

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.239

●発行日/令和6年2月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。